

計画に基づく障がい全般の現状について

川根本町

第 7 期障がい福祉計画

第 3 期障がい児福祉計画

進捗状況

(令和 7 年 2 月 1 日現在)

令和 7 年 3 月
川根本町

1. 障がい福祉サービスの成果目標

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

項目	目標	内容・考え方
令和4年度末時点の施設入所者数	13人	令和4年度末時点の施設入所者数
令和7年1月末入所者数	13人	
令和8年度末時点の施設入所者数見込	12人	令和5年度末時点の施設入所者数の見込
【目標】 地域生活移行者数	2人 15.4 (%)	令和5年度から令和9年度に地域生活へ移行する人数の見込
【目標】 施設入所者削減数	1人 7.7 (%)	差引減少見込

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

項目	目標	内容・考え方
協議の場の設置	設置	基幹相談支援センター内に設置

項目	単位	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
【目標】 協議の場の開催回数	回	1	0	1	1
【目標】 協議の場の参加者数	人	7	0	7	7
保健	人	1	0	1	1
医療（精神科）	人	1	0	1	1
医療（精神科以外）	人	1	0	1	1
福祉	人	1	0	1	1
介護	人	1	0	1	1
当事者	人	1	0	1	1
家族	人	1	0	1	1
その他	人	0	0	0	0
【目標】 目標設定・評価回数	回	1	0	1	1

(3) 地域生活支援の充実

項目	目標	R7.1末	内容・考え方
【目標】 地域生活支援拠点等の整備	1箇所	◎	設置
令和8年度末までに地域生活支援拠点等で確保する機能			
相談			
緊急時受入・対応			
体験の機会・場	◎	×	
専門的人材の確保・養成			
地域の体制づくり			
その他			
強度行動障がい有する者の 状況把握及び支援	1箇所	未	令和8年度末までに強度行動障害を有する障がい者の状況や支援ニーズを把握し、地域の関係機関が連携した支援体制整備

【増減要因】圏域で検討中

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5 実績	R6年度 (2024)	R7.1 末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
コーディネーターの 配置	人	0	0	0	0	0	0
支援の実績等を踏まえた 検証及び検討	回	12	12	12	10	12	12

【増減要因】毎月1回開催。

(4) 福祉施設から一般就労への移行等

項目	目標	R7.1末	内容・考え方
令和3年度中の 一般就労移行者数	0人	0	令和3年度中に一般就労に移行した人数
【目標】 一般就労移行者数	2人	0	令和8年度中に一般就労に移行する人数の見込 令和3年度実績(0人)の1.28倍以上
就労移行支援事業を通じた 移行者数	0人	0	令和3年度実績(0人)の1.31倍以上
就労継続支援A型を通じた 移行者数	1人	0	令和3年度実績(0人)の1.29倍以上
就労継続支援B型を通じた 移行者数	1人	0	令和3年度実績(0人)の1.28倍以上
【目標】 就労定着支援事業の 利用率	1人 100%	0	令和3年度実績(0人)の1.41倍以上

【目標】 一般就労移行者割合 5割以上の事業所の割合	0% 0（箇所）	0	就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所の割合見込
【目標】 就労定着率7割以上の 事業所の割合	0% 0（箇所）	0	令和8年度における就労定着率が2割5分以上の事業所の割合見込 事業所がないため未設定

（５）相談支援体制の充実・強化等

項目	目標	R7.1末	内容・考え方
【目標】 基幹相談支援センターの設置	設置	設置	R3設置 島田市・牧之原市・吉田町と共同で設置済
【目標】 協議会の実施及び体制確保	確保	確保	R5確保 語ろう会

【内容】語ろう会メンバーは、基幹相談支援、行政、委託相談、就労継続支援B型、GHとくやま、社協。ケース共有や本町で暮らし続けるために必要な取組等の協議を実施。

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
【目標】基幹相談支援センター							
主任相談支援専門員の配置数	人	2	1.5	2	1.5	2	2
指導・助言件数	件	14	51	14	95	14	14
支援件数	件	36	51	36	95	36	36
相談機関との連携強化の取組の実施件数	件	6	0	6	3	6	6
個別事例の支援内容の検証の実施件数	件	36	0	36	0	36	36
【目標】協議会							
相談支援事業所の参画による事例検討実施回数	回	4	3	4	3	6	6
参加事業者・機関数	箇所	4	4	4	8	5	5
専門部会の設置数	箇所	1	1	1	1	1	1
実施回数	回	1	2	1	1	1	1

【内容】基幹相談支援センター：指導・助言・支援の件数にあっては、基幹相談センターが令和6年6

月より語ろう会へ参加しているため大幅に増加。

（６）障がい福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

項目	目標	内容・考え方
【目標】 サービス等の質を 向上させる取組	-	

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
相談支援従事者 初任者研修の参 加人数	人	1	0	1	0	1	1
障害支援区分認 定調査員研修の 参加人数	人	1	2	1	1	1	1
審査結果の活 用・共有回数	回	0	0	0	0	0	0

2. 障がい福祉サービスの実績と見込み

(1) 訪問系サービス

(月あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
居宅介護	人	6	4	6	4	6	6
	時間	77	47	77	43	77	77
重度訪問介護	人	0	0	0	0	0	0
	時間	0	0	0	0	0	0
同行援護	人	0	0	0	0	0	0
	時間	0	0	0	0	0	0
行動援護	人	0	0	0	0	0	0
	時間	0	0	0	0	0	0
重度障がい者 等包括支援	人	0	0	0	0	0	0
	時間	0	0	0	0	0	0

【増減要因】居宅介護:GHへの移行1名・利用者死亡1名による減。

(2) 日中活動系サービス

(月あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
生活介護	人	15	15	15	15	15	15
	人日	340	308	340	282	340	340
うち 強度行動障がい を有する者	人	1	0	1	0	1	1
うち 高次脳機能障 害を有する者	人	0	0	0	0	0	0
うち 医療的ケアを 必要とする者	人	0	0	0	0	0	0
自立訓練 (機能訓練)	人	0	0	0	0	0	0
	人日	0	0	0	0	0	0
自立訓練 (生活訓練)	人	2	2	2	2	2	2
	人日	44	46	44	46	44	44
うち 精神障がい者	人	0	1	0	1	0	0
就労選択支援	人	0	0	0	0	0	0
	人日	0	0	0	0	0	0
就労移行支援	人	0	0	0	2	0	0
	人日	0	0	0	35	0	0
就労継続支援 (A型)	人	2	3	2	3	2	2
	人日	45	61	45	56	45	45
就労継続支援 (B型)	人	25	32	26	31	27	28
	人日	514	529	529	535	544	559
就労定着支援	人	0	0	0	0	0	0
療養介護	人	1	1	1	1	1	1

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
福祉型短期入所	人	5	3	5	4	5	5
	人日	55	14	55	24	55	55
	うち 強度行動障がい を有する者	人	0	0	0	0	0
	うち 高次脳機能障 害を有する者	人	0	0	0	0	0
	うち 医療的ケアを 必要とする者	人	0	0	0	0	0
医療型短期入所	人	0	0	0	0	0	0
	人日	0	0	0	0	0	0
	うち 強度行動障がい を有する者	人	0	0	0	0	0
	うち 高次脳機能障 害を有する者	人	0	0	0	0	0
	うち 医療的ケアを 必要とする者	人	0	0	0	0	0

(3) 居住系サービス

(月あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5 実績	R6年度 (2024)	R7. 1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
自立生活援助	人	0	0	0	0	0	0
うち精神障がい者	人	0	0	0	0	0	0
共同生活援助	人	16	20	16	20	16	16
うち精神障がい者	人	4	5	4	5	4	4
うち 強度行動障がい を有する者	人	0	0	0	0	0	0
うち 高次脳機能障害 を有する者	人	0	0	0	0	0	0
うち	人	0	0	0	0	0	0

医療的ケアを必要とする者							
うち日中サービス支援型	人	1	5	1	5	1	1
施設入所支援	人	13	14	12	13	12	12

【増減要因】入所支援は利用者の死亡による減。

(4) 相談支援

(年度あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
計画相談支援	人	58	63	59	62	60	61
セルフプラン数	人	0	0	0	0	0	0
地域移行支援	人	1	1	1	0	1	1
うち精神障がい者	人	1	1	1	0	1	1
地域定着支援	人	0	0	0	0	0	0
うち精神障がい者	人	0	0	0	0	0	0

【増減要因】計画相談:障害サービス利用者増。

3. 地域生活支援事業の実績と見込み

(2) 自発的活動支援事業

(年度あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
ピアサポート 活動参加者数	人	0	1	1	0	1	1

【増減要因】R5圏域主催の研修に参加。

(6) 意思疎通支援事業

(年度あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
実施箇所数	箇所	0	0	0	0	0	0
実利用者数	人	0	0	0	0	0	0

(7) 日常生活用具給付等事業

(年度あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
実利用者数	人	31	33	35	33	35	35

(9) 移動支援事業

(年度あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
実施箇所数	箇所	3	3	4	4	4	4
実利用者数	人	4	5	5	6	5	5
延利用 時間数	時間	120	128	130	147	130	130

【増減要因】新規利用者増。全て町外の事業所による支援。

(11) 日常生活支援事業

訪問入浴サービス

(年度あたり)

項目	単位	R 5 年度 (2023) 見込み	R5実績	R 6 年度 (2024)	R7.1末	R 7 年度 (2025)	R 8 年度 (2026)
実施箇所数	箇所	1	1	1	1	1	1
実利用者数	人	4	4	4	2	4	4

【増減要因】介護への移行(1人)、家族対応(1人)による減。

※R5年度中に委託事業所撤退により事業者変更あり。

日中一時支援

(年度あたり)

項目	単位	R 5 年度 (2023) 見込み	R5実績	R 6 年度 (2024)	R7.1末	R 7 年度 (2025)	R 8 年度 (2026)
実施箇所数	箇所	1	1	1	1	1	1
実利用者数	人	1	1	1	1	1	1

※駿遠学園1人

2. 障がい児福祉サービスの実績と見込み

(1) 障がい児福祉サービス

(月あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1 末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
児童発達支援	人	1	0	1	0	1	1
	人日	5	0	5	0	5	5
放課後等 デイサービス	人	1	1	1	1	1	1
	人日	3	2	3	2	3	3
保育所等訪問支援	人	1	0	1	0	1	1
	人日	1	0	1	0	1	1
居宅訪問型 児童発達支援	人	0	0	0	0	0	0
	人日	0	0	0	0	0	0
障がい児相談支援	人	3	3	3	2	3	3
セルフプラン数	人	0	0	0	0	0	0
コーディネーター の配置人数	人	0	0	0	0	0	0

(2) 発達障がい等に対する支援

(年度あたり)

項目	単位	R5年度 (2023) 見込み	R5実績	R6年度 (2024)	R7.1 末	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
支援プログラム 受講者 (保護者) 数	人	0	0	1	0	1	1
支援プログラム 実施者 (支援者) 数	人	0	0	1	0	1	1
ペアレント メンター人数	人	0	0	1	0	1	1
ピアサポート活動 参加者数	人	0	0	1	0	1	1

【資料 3－2】

令和 6 年度の取組と見えてきた課題

1. 令和 7 年度「障害者相談支援業務」委託先について

現在の委託先である「社会福祉法人 明光會（静岡市）」より令和 6 年 10 月 10 日付けにて令和 7 年度以降の受託が困難である旨の文書が提出された。その大きな要因としては、法人内で資格を有している人の派遣が困難であること、募集をかけたが応募者が現れなかったこと。

このことから、現委託先とも調整を重ねてきたが、結果令和 7 年度の委託先は現委託先ではなく、別の法人と現在最終調整に入っている状況。（次年度以降も、障害者への対応内容等については、基本これまでと変更なし。）

2. 「語ろう会」

- ・ 名 称：川根本町語ろう会
- ・ 参加者：GH とくやま、B 型サービス管理者（えまつ・みどりの丘）、社協、
基幹相談支援センター、行政、委託・計画相談 9 名
- ・ 開催頻度：基本月 1 回（令和 5 年度より実施）
- ・ 内 容：
 - 緊急時のフロー作成
 - 独居の方の緊急時の連絡体制の確認
 - B 型利用者の就労の機会の創出（輝き体験ウィーク）
 - 困難ケースの事例検討協議
- ・ 見えてきた課題
 - 親亡き後の地域での生活や自治会との関わり、地域で孤立しないようなサポート体制等。
 - 福祉サービス利用者の高齢化。
 - 将来的にサービスを継続する為の人材不足。

3. 「グループホームとくやま」について

- ・ 開 所：令和 4 年 1 月
- ・ 部屋数：10 室（うちショート利用者用として 2 室確保）
- ・ 現在の入居：6 室（男性 6、女性 0） 町内 5 名、町外 1 名
（ショート利用登録者…11 名（町内 9、町外 2））

- ・今後について（見えてきた課題）

障害者の GH は必要不可欠な資源の一つであることは、関係者間で共通の認識でいる。
施設側としての職員体制に苦慮している現状がある。

令和 7 年度においては、空き室もあることから経営上厳しい状況が継続している点について GH から報告があった。（現状の GH 利用者…ほとんどが B 型みどりの丘、えまっ利用者である。）

これまで、無償で行ってきたサービス（受診同行など）も経営の為に有料にするための検討をしていく。

4. 「輝き体験ウィーク」について

今回、昨年度のぼらんちが実施した事業を参考に、令和 6 年度 町独自事業「川根本町輝き体験ウィーク」と題して、健康福祉課、産業振興課商工業室、町商工会、町内企業、B 型事業所と連携して企業見学・作業体験を実施し、障害者の就労に対する意欲の向上、就労内容の選択肢を増やす、福祉的就労に繋がるきっかけになるよう実施した。現状では、次年度以降も継続を考えている。

*ぼらんち…障害のある方の就労・生活支援センター（島田市）

	企 業 名	日 時	体験内容	参加者
1	KAWANE ホールディングス 事務所	1 2 月 2 3 日（月）	Excel を使った業務	1 名
2	KAWANE ホールディングス ウッドハウスおろくぼ （宿泊施設）	2 月 5 日（水）	ベッドメイキング	4 名
3	ケーブルテクニカ(株) （自動車部品製造）	1 月 3 1 日（金）本川根工場	工場見学 一部部品組立体験	3 名
		1 月 3 1 日（金）中川根工場		4 名
4	川根インダストリー(株) （主に粉末茶の加工業）	1 月 1 6 日（木）	粉碎茶の袋詰め作業	3 名
		1 月 1 7 日（木）	ヒートシール貼り	3 名
5	山元(株)川根工場 （精密部品加工・製造）	1 月 2 2 日（水）	工場内見学 一部体験あり	5 名
計	4 事業所			2 3 名

所感（語ろう会で出た意見）

- ・普段の作業場所や作業内容と違って初めは緊張している方もいたが、作業体験など積極的に取り組んでいる姿が見られた。
- ・一部の参加者は、自分でもできる自信がついた方も見受けられた。
- ・今後、企業へのアンケートを基に、今後施設外就労や就労にどのように繋げていくか関係機関と協議していきたい。
- ・施設外就労への可能性。
B 型の職員も同行してくれるのであれば、会社としても安心して受入れの幅が広がる。
現在の B 型工賃ではモチベーションを保つことが難しいのではないかな。
- ・一部階段が急で一人での昇降に不安を感じた。（受ける側の配慮）
- ・わからない作業について、自分から質問することができる力を普段からつけていきたい。
- ・普段から自分で考えて行動する。自分の意思で行動することが意識できるようなアプローチが必要と感じた。

次年度への展望

- ・町内企業、地域、福祉と連携の輪を広げていきたい。
- ・企業側において、人手不足を障害者の就労で補えないか…みんなで考えていきたい。